



人とのつながりは、「**地域のお宝**」で、お互い顔の見える関係から始まる支え合い活動です。サークル活動、趣味の仲間、ご近所さんとのお裾分け、お茶飲み仲間は、5年後、10年後の**人生を豊かに過ごすための糧**となります。

あなたの今のつながりを「**支え合い活動**」として意識してみてください。

戦争を語り継ぐ会



戦争学習会

戦争を語り継ぐ会では、戦争の悲惨さと平和の尊さ、戦争体験を風化させず次世代に語り継ぐため、市内小学生や地域の生涯学習に参加する人を対象に「戦争学習会」を実施しています。コロナ禍で中止が続いていますが、毎月定例会を開催し、市内の戦争中の状況を収集したり、情報交換をしています。

また、常設展示場は、建物が老朽化したため閉鎖となっていますが、今後、学習文化センターの一室で太田市平和祈念館を開設の予定です。8月の終戦記念日に向けて準備を進めています。



地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

戦争を語り継ぐ会の皆さん



会員の声

メンバーは戦争遺児で平均年齢は80才代です。平成22年から9年間、市内の小学校の体育館などで70回も戦争学習会をやってきました。しかし、高齢により学校訪問が難しくなり、太田市が令和元年に平和祈念館の場所を提供してくれました。

みんなで窓にベニヤを張ったり、資料も手作りで何日もかけて祈念館をオープンしました。市民の皆さんからも貴重な戦時遺品を提供してもらいました。太田・大泉の多くの学校から来館してくれましたが、コロナ禍になってからは、学校の来館が難しくなったため戦争のビデオを貸し出し、授業で学習してもらっています。「戦争は絶対いけないことがよくわかった」など、子どもたちの感想文が活動の励みになっています。

語り継ぐ会で長年のお付き合いをしている仲良しの3人。青年部の頃には、慰霊巡拝で国内・国外を共にしました。鹿野さんは、車の運転をしない木村さんと塚越さんに乗せて定例会に参加します。またランチにも時々3人で出かけます。

鹿野さんは、「私は引っ込み思案で語り継ぐ会の仲間がいて本当によかった」と話していました。

木村久子さん(85才)

鹿野玲子さん(82才)

塚越マリ子さん(84才)



つながりから支え合いへ

高齢になっても、目的を共有するみなさんにとって、「次世代へ語り継ぐ」という啓発活動が、モチベーションを保ち、生きがいとなって心と身体の健康を維持しています。今後、開設する太田市平和祈念館への思いなど、同じ志を持つみなさんのつながりは強く、そういった人と人とのつながりの中に支え合う様子も垣間見ることができます。

★あなたの地域のお宝情報を募集しています！

「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします。



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817

群馬県太田市飯塚町1549

TEL 0276-46-6208

FAX 0276-46-6229